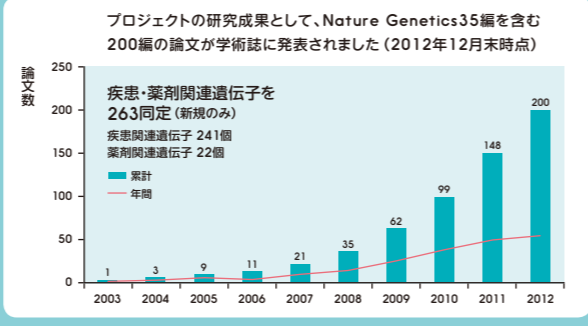


バイオバンク ジャパン とは?

バイオバンクとは、一般の方々や患者さんからご提供いただいた試料と関連する情報が管理された状態で保管されている貯蔵庫のことです。その代表例である「バイオバンク・ジャパン」は、2003年に、東京大学医科学研究所(東京都港区)内に設立されました。頑強な建物の中には、約20万人分のDNA、血清、カルテの情報が厳しいセキュリティのもとで管理され、厳正な審査を経た研究に使用されています。

オーダーメイド医療実現化プロジェクトから 発表された論文数の推移



オーダーメイド医療実現化を目指した研究

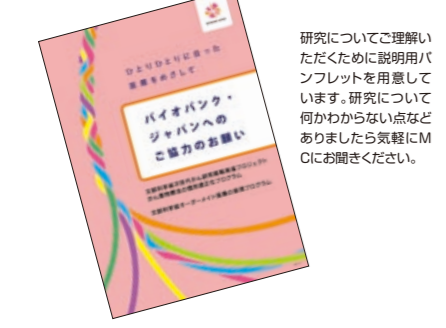
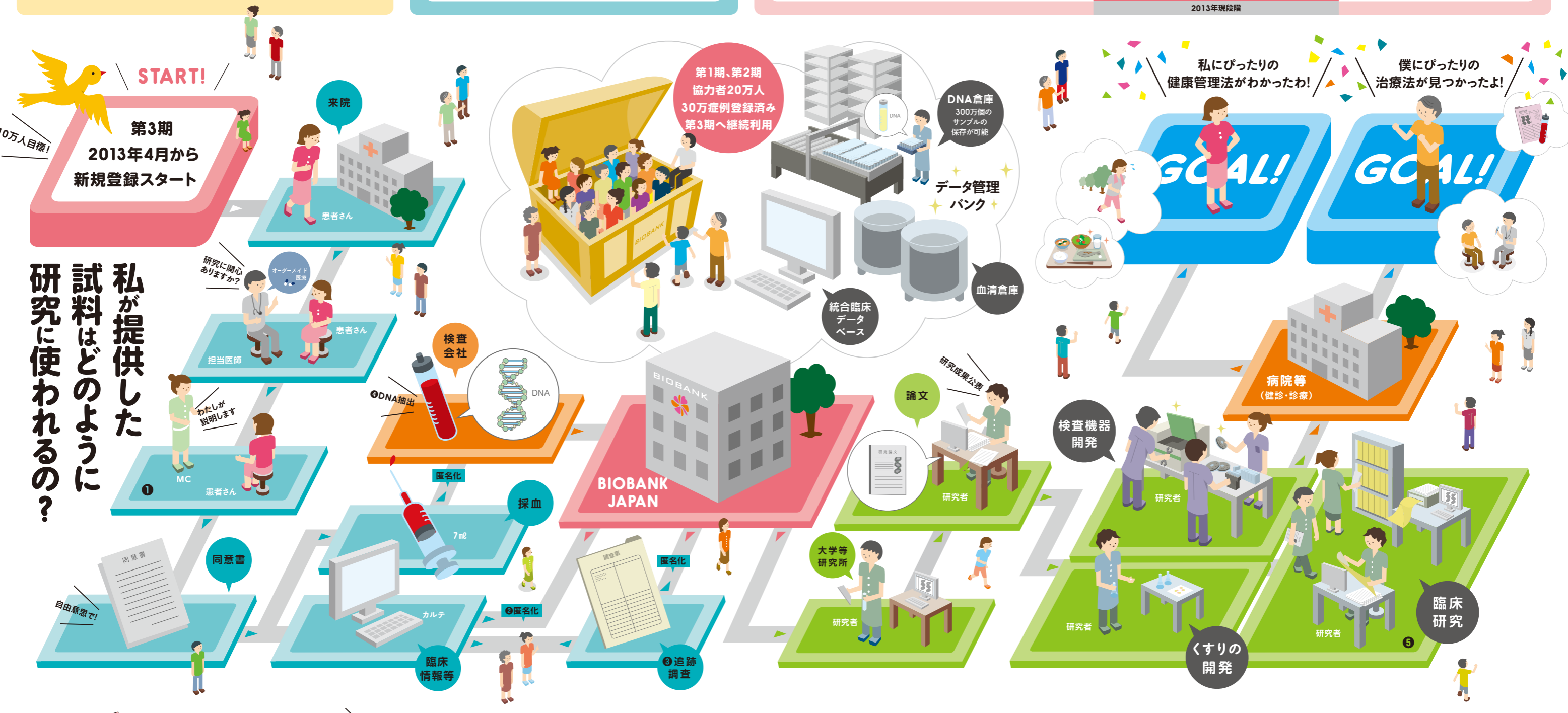
1866年	1953年	1990年	2003年	2003~2013年現在
メンデル	ワトソンとクリック	国際共同研究	国際共同研究	オーダーメイド医療実現化プロジェクト
遺伝法則の発見	DNA二重らせん構造の解明	ヒトゲノム計画が公式にスタート	ヒトゲノム解読完了	基礎研究 DNAをご提供いただき、病気やくすりの効きやすさと、遺伝子型の関係性を調べてきました。
				5 臨床研究 病気やくすりの効きやすさと関係する遺伝子型について、実際に患者さんに実証的な検査をします。
				高度医療評価制度 一定の条件のもとで、先進的な医療技術を保険診療と併用できるように国に申請をします。
				医療 患者さんひとりの体質にあった治療法(くすり)が選択できるようにになります。

START!

第3期
2013年4月から
新規登録スタート

10万人目標!

私が提供した試料はどのように研究に使われるの?



研究についてご理解いただくために説明用パンフレットを用意しています。研究について何かわからない点などありましたら気軽にMCにお聞きください。

MCって何? ①MC:メディカルコーディネーター

メディカルコーディネーターは、この研究について詳しく知りたい方々のために養成されました。一般的に、研究プロジェクトについての説明やご登録後の手続きなどを担当している人をリサーチ・コーディネーターと呼んでいますが、メディカルコーディネーター(MC)と名付けたのは、このプロジェクトが研究として終わるのではなく、その成果が、近い将来に医療として社会に還元され、MCの役割もさらに広がっていくことを目標としているからです。MCは、ご協力を考えている方々に、研究に関する必要な情報をわかりやすく提供し、自由な意思で決めていただくためのサポートをしています。患者さんの立場に配慮したお声かけを心がけながら、ご登録後には、いただいた試料や情報などが正確なデータとなるように細心の注意を払っています。

②匿名化

研究に際して、病気の経過や症状・くすりの服用などについて、カルテに記載された情報をご提供いただきます。その際、お名前、ご住所、生年月日など、個人の方を特定できるような情報は取り除き、新たにID番号を割り当てて管理します。病院の外に情報を出す場合、このID番号だけが使われます。このような作業を匿名化といいます。お名前とIDの対応表を残しておく「連結可能匿名化」と、対応表を残さない「連結不能匿名化」があります。本研究では「連結可能匿名化」を行います。お名前とID番号の対応表は、病院内で厳重に管理します。

③追跡調査

ご協力後のみなさまに関する情報は、データを正確に保ち、病気の原因や経過などを明らかにするために重要です。受診を継続されている方からはカルテ情報を転記させていただきます。1年以上受診をされていない方や、お住まいの自治体にお問い合わせをすることがあります。

④DNAと遺伝子

わたしたちの体の細胞の中には、DNA(デオキシリボ核酸)という物質があります。DNAの中の、主にタンパク質の合成に関わる情報部分のことを遺伝子といいます。ヒトの場合、これが約3万個あると推定されています。DNAを構成する要素としてアデニン(A)、グアニン(G)、シトシン(C)、チミン(T)の4種類があります。ヒトの場合、これらの4種類の文字が30億文字並ぶと全遺伝情報になっています。

⑤臨床研究

臨床研究とは、医療における病気の予防、診断や治療法の改善などを目的とした、人を対象とする医学研究のことです。本プロジェクトの成果をもとに、患者さんを対象として、既に承認されているくすりに関する臨床研究が行われています。